



みつっ子だより

令和 7 年 4 月 7 日
岡山市立御津小学校

学校教育目標 自立に向かう資質・能力の育成

めざす子ども像

認め合い
人権尊重の精神

支え合い
社会性

学び合い
活用力 表現力 向上心



豊かに育つ御津小フレンズ
母校・地域への愛着・誇り

ファミリー・コミュニティー
(家庭・職場・地域)

上学年

中学年

下学年

指導の重点 **チャイム着席 あいさつ 姿勢**



- ・学校に行くのが楽しい
- ・学校の授業は分かりやすく楽しい

4 月から学校教育目標を、「自立に向かう資質・能力の育成」に変更しました。予測不能で変化の激しいこれからの世の中を、社会人として自立して生活していくための力を子どもたちに、しっかりと身に付けてほしいという願いを込めています。子どもたちには「親任せ」や「先生任せ」にしていたことを少しでも「自分たちでできるようにしよう」と呼びかけています。運動会や長縄集会などの行事はもちろん、日々の学校生活の中で、子どもたちの活躍の場を増やしていきたいと考えています。お家の中でも、靴そろえや食器の片付けなど、自分たちでできることに取り組ませてみてください。

目指す子ども像は、子どもたちの 5 年後、10 年後の将来を意識して「認め合い、支え合い、学び合い、豊かに育つ御津小フレンズ」としました。我々教職員は職員室が「認め合い、支え合い、学び合い、豊かに育つ御津小ファミリー」となるようにしたいと思っています。

「認め合い」

子どもたちはもちろん我々教職員も人それぞれ、身長や体重、顔かたち、得意・不得意は異なります。「みんなちがってみんないい」。金子みすゞさんの詩の一節です。お互いの違いを認め合うことが、社会生活の根底に必要なだと思います。人と違っているからといってからかったり、無視したり、人の苦手なことを取り上げて馬鹿にしたり、悪口を言ったり、いじめたりすることは、あってはならないことです。「戦争」の根底には「認め合いの喪失」があるように思います。

「支え合い」

まずは、自分のできることをやりきることが求められます。

ただ、身の回りには一人の力ではできないことが、たくさんあります。みんなで力を合わせてやった方が早くできたり、たくさんできたりします。そうじや給食など、日々の学校生活の中で子どもたちが「支え合える」ようにしたいと思います。高学年が低学年を支えることで安全に登下校する地区別の活動は、中学校の部活動や社会生活にもつながる大切な「支え合い」だと思います。

もちろん、人にはお互いに得意・不得意があります。それぞれ得意なことでクラスに貢献し、苦手なことをお互いに補い合うことも大切です。自分勝手なわがままは、慎みたいものです。

「学び合い」

自分が疑問に思ったこと、見付けたこと、不思議に思ったことなどを、お互いに伝え合うことで、思考の領域がどんどん広がっていきます。知識が最も定着する方法は「他者に教えること」だと言われます。授業の中で子ども同士の教え合いの時間を設定し、子どもたちが得意なことを生かして、お互いの不得意を補い合うことができるようにしたいと思います。

「豊かに育つ」

古から御津は南北の水上通運、東西の陸上通運の結節点として栄えてきました。歴史的な変わり目の場面にも度々登場します。太古の時代に遡ると、古墳はもとより、化石なども産出する、地学的に変化に富んだ地域です。現在でも自然環境を生かした産業と、郊外型の大規模な工場を併せ持っています。地域で古くから育まれてきた行事や風習も伝わっています。近年、いったん下火になっていた行事を復活させる動きも出てきています。

そういった恵まれた地域環境を知ること、地域や母校への愛着と誇りをもてる子どもたちを育てたいと思います。

学校教育目標の実現を目指して、日々の教育活動や授業を見直し、取り組んでいくことで、「学校に行くのが楽しい」、「学校の授業は分かりやすく楽しい」と御津小学校の子どもたちみんなが思えるようになることを目指しています。

もちろん、学校の職員だけでは足りない部分が多々あります。PTAを始め、多くの地域の方々にお力を貸していただかなければならないことも多々あると思います。どうか、子どもたちの健やかな成長のために、今年も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

